2. 民営化の考え方と検討現況、課題

三菱重工業株式會社

基本的な考え方：MHIがプライムとなりH－ⅡA事業を遂行する。

民営化実現の要件	要件を保証する協定等
1. MHIの一元化された責任の下でﾛｹｯﾄ製造・打上げ	「事業団は、平成16年度末までに計画されているH-IIA標準型の打上げを行い、飛行実証を通して設計を確定したうえで、H-IIA標準型の技術を三菱重工へ移転する。」（基本協定）
2. 確立した標準型の技術を民間へ移転受け	
3. プライム体制の構築と官民の役割分担	・基本協定締結によりMHIのプライムが決定 ｻﾌﾟﾗｲﾔｰ各社との契約条件等調整中 ・ 基本協定でJAXAへ委託作業範囲設定 安全確保に係る業務及び飛行ﾃﾞｰﾀの取得に係る業務はJAXA
4. 事業リスクを軽減するための基幹ﾛｹｯﾄの位置付け明確化	・今後の宇宙開発利用に関する取組みの基本について （総合科学技術会議H14.6.19） 「政府の人工衛星の打上げに国産ﾛｹｯﾄを優先的に使用することを基本とする。我が国の民間企業が人工衛星を打ち上げる場合にも、国産ﾛｹｯﾄの使用を奨励する。この方針の下にH－ⅡAﾛｹｯﾄを我が国の基幹ﾛｹｯﾄとして定常的に運用する。」
5. コストダウンへの対応とキー技術の維持・向上	・プライムがコストダウンを推進 ・キー技術の国内維持・向上を国が実施 （最終報告書）
6. H－ⅡA能力向上の開発を国の予算の下に主体的に実施	・平成16年度からの予算に反映
7. 15年度契約より実施	・平成15年度　未契約

課題

- ➢6号機失敗の根本原因と対策
- ➢ｻﾌﾟﾗｲﾔの技術開示範囲

⇩

MHIの一元化された体制

移行時期

【上記が満たされて移行可能】